

スーパー耐久の最終戦です。前戦までにシリーズチャンピオンを獲得してありますがホームコースと言うことでリラックスモードながらもチャンピオンチームらしく全力で勝ちにいきます。今回はAドライバー村上、Bドライバー脇谷の岡山国際サーキットのN1ロードスターで腕を磨いた2人で凱旋レースです。



10月13日 金曜日 公式練習

朝一のフリー走行1本目は雨。AM8時からコースイン。Aドライバーの村上がまずはアタックしていきますがやはりウエットは厳しく、クラス5位に沈みます。そこから徐々に路面は回復してほぼドライの状況になったところで3回目のフリー走行ではクラス2位になります。が、ここで足回り？駆動系？から異音が発生。夜まで原因を追及しますが判断が難しく交換できるパーツは交換して翌日の予選で確認ということになりました。

10月14日 土曜日 公式予選

心配された天候も回復して曇りから晴れになりました。まずはAドライバーセッションでは、村上が1分48秒595をマークしてトップに立ち、2番手の4号車が1分49秒038で5戦連続トップタイムで圧倒的な強さをライバルに見せつけます。Bドライバーセッションでは、4号車に続き脇谷が2位のタイムで続いたことから、合算タイムでは#88 村上モータースMAZDAロードスターNDが5戦連続のポールポジションを獲得で喜んでましたが再車検でスタッフの作業ミスでタイム抹消という裁定が下されて最後尾スタートになってしまいました。予選 ST5クラス タイム抹消



10月15日 日曜日 決勝

決勝は3時間レースと言うことでAM8時にコースインして8時半からスタートになります。残念ながら昨夜からの雨はあがらずウエットでのレースです。スタートは村上です。5クラスのライバルはFF勢が多数で雨はやはりFRが厳しい戦いになります。そんな中、スタートして1台ずつ、丁寧にパスしていき20分後には4台をパスして前を追い掛けますがペースはこちらが速いのですが抜けない苦しい展開。1時間10分を走行したところで脇谷に交代。ここでセーフティーカーが出動してタイミングが良く3位まで順位を上げていきます。そのまま淡々と走り続けますがまたセーフティーカーが出動。が、2人で参戦の我々は村上の走行時間の制限が2時間と言うことで動けず順位を落とします。ラスト40分でまたもやセーフティーカーが入りここで再度村上にドライバーチェンジして上位を目指します。フィットとバトルを繰り返しながらラスト10分で2台をパスして8位まで順位を戻します。そのまま6位争いに加わりますが時間切れでチェッカー。無念の8位・・・。残念な最終戦でしたが全戦完走してスーパー耐久2017のST-5クラスのシリーズチャンピオンが決定しました。決勝 ST5クラス13台中8位



総括 チームオーナー村上

ST5クラスの台数も増えて激戦になり、またロードスターも4台が増えて本当の意味でのチームそして自分のドライバーとしての真価が問われるシーズンとなりました。当然ながら恐ろしいプレッシャーも感じながらも絶対に今年はシリーズチャンピオンを獲るんだと言う強い信念を持って挑みました。ただ、NDロードスターが発売されてから徹底的にテストを繰り返してきた自信はあり、2か年計画で今年は圧倒的な速さで勝ると信じてました。その結果、全戦完走、6戦中5回の表彰台、4戦連続ポールポジション、3戦連続ポールTOウインという圧倒的な速さと信頼性でライバルを圧倒して念願のスーパー耐久ST-5クラスのシリーズチャンピオンになることができました。自分達が達成できたことは本当に時間も掛かりましたが諦めずに夢を追い掛けることに付き合ってくれた仲間本当に感謝です。たくさんのスポンサー様、レース仲間を支えられてここまでこれたことに感謝です。本当にたくさんの応援を頂き、そしてパワーを頂きありがとうございました。ロードスターでスタートした挑戦はまだまだ続きがあると信じてます。我々は今よりもっともっと高いステージに行きます。その挑戦はひとりでは出来ません。一緒に戦ってください、よろしくお願ひします。本当にありがとうございました。

